

特区の目標

- アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターを形成し、先端技術集約型産業である「航空宇宙産業」を振興するとともに、自動車に続く次世代産業として育成し、**「技術立国・日本」の成長・発展を牽引する**ことを目指す。

現在の指定区域及び変更対象

※赤字は今回新たに区域指定する市町村
※青字は今回新たに地番を追加する市町村

長野県 長野市、上田市、**岡谷市**、飯田市、諏訪市、**伊那市**、駒ヶ根市、茅野市、下諏訪町、富士見町、辰野町、**箕輪町**、飯島町、**南箕輪村**、松川町、高森町、喬木村、豊丘村
岐阜県 岐阜市、大垣市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、郡上市、海津市、笠松町、垂井町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、坂祝町、川辺町、御嵩町
静岡県 浜松市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、清水町
愛知県 名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、豊山町、大口町、蟹江町、飛鳥村
三重県 津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、伊賀市、木曽岬町、東員町 一部の区域

98自治体→99自治体

区域変更の概要

- 変更理由
航空機関連部品の生産能力の拡充及び人工衛星、宇宙ステーション、ロケット、補給機に搭載の電子機器に使用される抵抗器等の製造事業の円滑な推進を図るため、航空機部品や宇宙機器を生産する中小企業等の生産能力拡充が必要。
- 新たに追加する区域で行う事業
宇宙機器の研究・開発事業
- 変更区域において活用する予定の支援措置
・規制の特例措置(工場等の新增設における緑地面積率等の特例)(検討中)
・税制支援(国際戦略総合特区設備等投資促進税制)
・金融支援(国際戦略総合特区支援利子補給金)
- 区域変更により見込まれる効果
中小企業の設備投資が促進され、ボーイング787等量産事業、Mitsubishi SpaceJetプロジェクト事業、ボーイング777X開発・量産事業、宇宙機器開発・供給事業の円滑な推進に寄与。

区域変更指定までのスケジュール

令和2年10月6日 第49回総合特別区域評価・調査検討会にて意見聴取
令和2年12月中旬 第28回総合特別区域推進本部(持ち回り決裁)にて意見聴取
令和2年12月中旬以降 内閣総理大臣指定

参考

- 特区で現在実施している主な事業
ボーイング787等量産事業
・ボーイング787等を使用される部品の製造
・複合材料を使用した航空機の機体の研究開発
Mitsubishi SpaceJetプロジェクト事業
・Mitsubishi SpaceJetに使用される部品の製造
・Mitsubishi SpaceJet機体の組み立て
ボーイング777X開発・量産事業
・ボーイング777Xに使用される部品の製造
宇宙機器開発・供給事業
・基幹ロケットをはじめとする宇宙機器の開発・供給

- 特区の評価指標と令和元年度実績
- (1) 中部地域における航空宇宙産業の生産高【進捗度100%】
(代替指標) 令和元年度目標値7,800億円、令和元年度実績値7,796億円
 - (2) 中部地域における航空機・部品の生産高【進捗度100%】
令和元年度目標値7,800億円、令和元年度実績値7,796億円
 - (3) 中部地域における航空宇宙産業雇用者数【進捗度73%】
(代替指標) 令和元年度目標値22,970人日、令和元年度実績値16,697人日
 - (4) 中部地域における航空宇宙関連輸出額【進捗度67%】
(代替指標) 令和元年度目標値5,100億円、令和元年度実績値3,407億円
 - (5) 中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数【進捗度159%】
令和元年度目標値32件、令和元年度実績値51件

ボーイング787



Mitsubishi SpaceJet (旧MRJ)



ボーイング777X



H3ロケット

